

(様式2)

学校関係者評価報告書

愛媛県立川之江高等学校(全日制)

学校番号(1)

評価実施日		令和7年2月14日(金)	
	氏名	所属等	備考
委員	篠原 裕和	川之江高等学校PTA会長	
	川崎 奈見	川之江高等学校前PTA会長	
	石村 美恵	川之江高等学校PTA役員	
	永尾 周三	四国中央市立川之江北中学校長	
	篠原 隆輔	四国中央市立川之江南中学校長	

評価・提言等	提言等に対する改善方策等
<p>【全日制】 今年度の最終評価について</p>	
<p>1 学校生活全般</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・川之江高校生はいつも気持ちのよい挨拶をしてくれる。</li><li>・学習を頑張る成績を上げることはもちろん大事であるが、高校生活の中で自分は何で成長するかを持つことが大切である。したいことを伸ばすという視点があってもよい。</li><li>・問題行動を起こす若者がいることが四国中央市の課題の一つである。薬物の使用や深夜徘徊などをする人物との交流をなくすことが、高校生として必要である。</li><li>・(質問事項)スマートフォンの使用についての具体的な指導はどうなっているか。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・部活動やボランティア活動など、学習活動以外で得ることが出来る力を身に付ける機会をできるだけ提供する。</li><li>・生徒指導を充実させるためには、学校だけでなく地域や家庭と連携して行うことが重要である。今後も、関係機関と連携を密にする。</li><li>・(回答)携帯電話は、校内では電源を切るように指導している。生徒指導面においても、情報モラルやその使い方の指導を充実させている。</li></ul>
<p>2 学習指導</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・学習時間が少ないことが課題である。学び方がわからないのではないだろうか。中学校では自習室を作り、テスト前に自習できるようにした。</li><li>・学習時間が少ない理由を分析する必要がある。「この時期は語学に力を入れよう」というように、学習内容を特化することをしてはどうか。</li><li>・市役所の自習室は三島高生が利用している。川之江高校生にも自習室が必要である。</li><li>・アンケート結果の学習時間の確保が課題である。スモールステップで改善を図ってほしい。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・学習時間が少ない要因の一つに、キャリアがなくても生活できる地域であるという認識があることが考えられる。入学時から、授業の受け方や自主学習の仕方をきめ細やかに指導し、学習の楽しさと、努力が成果につながることを実感できる教育を推進していく。</li><li>・川之江高校にも自習室があり、生徒は活用している。今後は、より活用しやすい自習室になるよう検討していく。</li></ul>

<p>3 進路指導</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学への進学を決める際にボランティアが大切であることを、高校入学時に案内してもよいのでは。</li> <li>・専門学校進学が増えているようであるが、進学先を大学か専門学校かを悩んでいる生徒に対して、大学進学に向けて刺激を与えることができないか。</li> <li>・海外には、若いうちに行ってほしい。</li> </ul> <p>4 特別活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアは、川之江高校生はよくやってくれているが、特定の生徒ではないだろうか。</li> <li>・部活動の加入率が低下している。原因を分析して、加入率を上げてもらいたい。また、途中でやめない工夫はできないか。</li> </ul> <p>5 中学校、PTA、同窓会との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小・中・高合同での避難訓練をしてはどうか。</li> <li>・夏休みに実施している橘サマースクールに参加した生徒のモチベーションがとても高い。先輩のアドバイスで希望進路が明確になることがあり、よい機会となっている。</li> <li>・川之江高校の活動は、インスタグラムを通じて試している。先生が写真を撮ってくれていることに感謝している。</li> <li>・インスタグラムのフォロワー数が増えていることがうれしい。台湾研修やダンスなどが印象的である。海外に行くことが人間性を変えるきっかけになると思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本校生徒はボランティア活動を熱心に行っている。引き続き、ボランティア活動の場をできるだけ紹介すると同時に、今後の進路決定の際に役立つことがあることを、1年次から意識させる。</li> <li>・今年度再開した、グローバル人財育成事業は、生徒たちにとって視野を広げる絶好の機会となった。来年度以降も定期的実施していく。</li> </ul> <p>・ボランティアの申込は、teamsを利用することにして、個別の参加状況などもわかるようにした。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒が減っているので、1部活動当たりの人数が減っていることが、活動の魅力低下や、トラブルがあった時の影響が大きくなっていることにつながっている。また、生徒同士の支えあう関係が少なくなっている。部活動改革を進めるに当たり、他校とも協力しながら魅力ある部活動にする。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和7年度は、学校と地域が連携したかたちで防災教育を進めていく。</li> <li>・海外研修や橘サマースクールをはじめ、様々な行事を、今後もPTA、同窓会の協力をいただきながら進めていきたい。</li> <li>・令和6年度は、インスタグラムの活用により、本校の取組を紹介することができた。今後も引き続き、情報発信をしていきたい。</li> </ul>
---	---